

Theme 「衣料廃棄ロス削減への貢献」

アップサイクル・アワード の実施により社員の SDGs意識の向上を図る

One JUKI Project「アップサイクル・プロジェクト」活動の一環として、アップサイクル・アワードを企画し、2021年10月15日に報告会と表彰式を開催しました。参加チームは、職場単位で編成された15チーム、社員約110名で、2021年7月から8月の活動期間を経て、「古着のリメイク」を完成させました。今回のイベントには、古着リメイクデザイナーの鈴木ゆうみさんにご協力をいただき、リメイクのヒントや技法の講習会から、チームへの具体的なアドバイスまで、さまざまな観点でご指導をいただきました。この活動を通じて、衣料廃棄ロス削減視点での社員のSDGs意識が向上しただけでなく、社員のミシンに対する関心度の向上や、作品制作を通じて社員間の活発なコミュニケーション促進にもつながりました。

アップサイクル・アワードまでのながれ

2020年4月

One JUKI Project 2020 活動開始

JUKIの10年後(2030年)を見据えたアイデアをSDGsやイノベーションの視点で募集

7月

「アップサイクル・プロジェクト」活動開始プロジェクトメンバー

2021年6月

部門対抗「古着のアップサイクル」コンテストのチームメンバー選出

6〜7名×15チームを選出

7月〜8月

作品制作

テーマ:子どものお出かけ服
条件①サイズ:100〜120cm
②アイテム:トップス/ボトムス/ワンピースの中から選択
③作品に合った小物を1点作成 ④JUKIロゴ入り生地を必ず使用

10月22日

アップサイクル・アワード社員投票結果発表

| チーム名 | 得点 |
|-----------------|-------|
| 第1位 Thumbs-up A | 250pt |
| 第2位 カレー | 141pt |
| 第3位 オミノジュンコ | 128pt |
| 第4位 良いミシン | 119pt |
| 第5位 KOKOKIWY | 104pt |

得点計算方法:1位3pt、2位2pt、3位1pt

10月15日

15チームの作品発表会と表彰式の開催 表彰結果と動画を配信

10月5日〜13日

展示会&社員投票

各自スマートフォンより1〜3位を投票

9月

デザイナー 鈴木ゆうみさんとJUKI審査員による審査

▼鈴木ゆうみさん
古着リメイクブランド「YuumiARIA」を手がけるデザイナー。古着リメイクの第一人者。テレビ番組「プレバト!!」にも評価者として出演。

今後の予定

- アップサイクル活動をグループ会社や代理店、お客様へ展開

【アップサイクル・アワード】全作品介绍

作品テーマ 夏のおでかけ♪

After

チーム名 KOKOKIWY
部門:GCC(財務経理部+グループ監査部+経営企画部)

Point
「可愛い!華やか!着たい(着せたい)!ワンピースとリュック」
①デザインの方向性:持ち寄った古着の形や生地の素材を活かす②安全性:子どもが一人で「着る・脱ぐ」しやすい、動きやすい→紐を外してゴムを入れる!③小物:子どもがお出かけしたくなるアイテム。残布を活用して、ポケットティッシュ入れなど、お出かけに必要なのを制作。

Before

ゆうみさん総評
トータルのバランスが良く、衿ぐりのゴムやドットの着丈をデザインで変えているなど、よく考えられています◎子どももとても着やすいのではないかと思います!

作品テーマ マドモアゼル

After

チーム名 オミノジュンコ
部門:GCC(情報システム部+経営企画部)

Point
お出かけが多くなる春から夏にかけて着る子ども自身が「着たい」と思う服を制作。そしてリメイクを感じさせず違和感なく存在する服を目指した。また、リメイクで残った端切れは、クッションなどの詰め物として活用。

Before

ゆうみさん総評
カフスを上手に使ったデザインワンピースでフェミニンながらも子どもも着こなせる洋服であると思いました。

作品テーマ 和モダン

After

チーム名 塚野商店
部門:GCC(人事総務部+健保組合)

Point
ガールズ、夏のお出かけ
①和洋折衷:浴衣とデニムの異質な者同士が繋がる魅力 ②同系色コーデ:ドッキングワンピースに統一感と爽やかさを ③目で楽しむ浴衣:見ているだけでもワクワクするのが浴衣 ④デニムの脱骨:可憐さは作れる。

Before

ゆうみさん総評
浴衣とのバランスがすごく良く、デニムとMIXした形がとても良かったです。モダンな感じがとても伝わってきます。

作品テーマ かわいい秋のお出かけ服 ~サコッシュとのおしゃれコーデ~

After

役員特別賞

チーム名 シェア&ハッピー
部門:GCC(業務プロセス革新部)

Point
見た目もかわいく、実用性の高さにもこだわった。
①安全性が高い:装飾品を極力使用しない②脱着しやすい:ファスナーやボタンを使用しない
③動きやすい:首回り、ウエスト、袖をゴム仕様④着心地・使い心地:子どもに負担にならない重さ、サイズに配慮。

Before

ゆうみさん総評
作品のバランスがとても良く、美しい作品だなと思いました! 秋に着たい! と思えるとても可愛いワンピースです! ウエストのバランスも良く、キュロットのつけ方もとても良いです!!

作品テーマ 宝探しにLet's Go

After

役員特別賞

チーム名 七人のこびと
部門:JUKIオートメーションシステムズ

Point
①宝物をたくさん入れられるポケットをつける
②長く着れる(兄妹にもお下がり可能→ジェンダーフリー) ③基本作品はズボン+女の子らしさ出すためにオーバースカート ④ジーンズのズボンの半分はポケットいっぱいのに変化する。

Before

ゆうみさん総評
トップスのシャツは衿ぐりなどを子どもサイズにしており、またウエストベルトは目線が上にいく効果があり、下のシフォンのスカートとのバランスも良いと思います。プルオーバーのトップスながらもボタンをはずすと着やすいなどの面◎バッグは少し重さもあるがボトムだった部分を大変上手に取り入れており、完成度が高い。

作品テーマ 高原を散歩 ～初夏 歩く少女～
世界に一つだけのトートバッグ



チーム名 良いミシン
部門:カスタマービジネス
カンパニー

Point

①イメージは少女、風が心地よい初夏にちょっとお洒落なお出かけ服 ②材料はすべて持ち寄ったものを使用、ボタン・ゴム紐等の小物類も古着からリユース ③小物のトートバッグはJUKIのHPを参考に作成 ④男女を問わないデザインとし、使い勝手のよい機能性を追求。

ゆうみさん総評

チェックの切り替えがデザインとしてもマッチしていて、清潔感もあり、子どもらしさもきちんと感じられる作品だと思います! スカートの裾にフレア感があるのも◎ バッグの中にきちんと内ポケットがついており、その内ポケットにもしゅうが施されていたのもとても素敵でした。

作品テーマ おでかけ汚れも緊急回避!!
Solution of Mischievous KIDS!!!



チーム名 モンスターきっず
部門:グループ事業
カンパニー

Point

①組み合わせ無限大、その日の気分に合わせてコーディネート ②単なる古着のリサイクルにとどまらず、継続した着脱可能な衣装更新の拡張性(Expansibility!!)のあるウェアをほうふつとさせるのもまた良かったです。シャツのデザインをうまく利用したのも◎

ゆうみさん総評

アイデアとして、このような洋服が世の中にあってもいいのでは!と思えたデザインでした!! ボタンで取り外しができるアイデアは素晴らしいです。ポケットがあることでデザインとしてもワークウェアをほうふつとさせるのもまた良かったです。シャツのデザインをうまく利用したのも◎

作品テーマ アルバムワンピース
～ワンピースとクマのぬいぐるみ～

総合第1位 社員特別賞



チーム名 Thumbs-up A
部門:縫製機器開発部+
プラットフォーム・UX開発部

Point

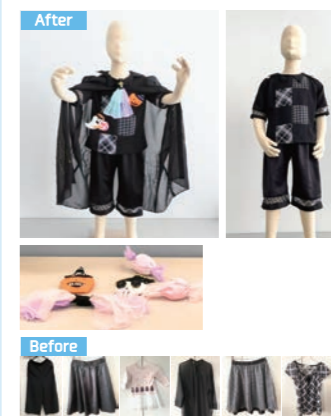
①家族の思い出が詰まった洋服をリメイクしたワンピース。夏休みにお出かけをし、さらに思い出を増やしていくアルバムのような一着。父親の洋服を娘へ、兄のおさがりが妹へのプレゼントへ ②残った端切れは、クマのぬいぐるみの詰め物として活用。

ゆうみさん総評

作品のバランスがとても良く、センスをものすごく感じました。元々こういった作品が売られているかのようなクオリティで、小物でBEARをおそろいのアイテムで作るアイデアも素晴らしいし、色合い、パターン、生地使い、すべての選び方も完璧です。

作品テーマ シーンに合わせてカスタマイズできる
男女兼用イベントコスチューム
Genderless & Customize ジェンダーレス & カスタマイズ

総合第2位



チーム名 Thumbs-up B
部門:縫製機器開発部

Point

「ジェンダーレス」と「カスタマイズ」+「α(子どもが喜ぶ楽しい仕掛け)」
①さらに付加価値を与えて新しいモノに作り変えることを意識した(ジェンダーレス) ②個人の多様性に対応し、シーンに合わせてのカスタマイズができる ③「α」として子どもが喜ぶ楽しい仕掛けを盛り込む。今回は「ハロウィン」をテーマにしたが、イベントごとに変更できる。

ゆうみさん総評

ポンチョのデザインがシャツを変身させているのが素晴らしいです。また洋服を生地で捉え、パターンを1から作成されていること、とても高くクオリティに感動いたしました!



作品テーマ 夏休みの思い出! 家族でテーマパークコーデ!

総合第5位



チーム名 3MINK
部門:生産センター

Point

①ミニちゃんをコンセプトに子どものテンションが上がるようなお出かけ着を作成 ②アイテムが、トップス・スカート・ベルト(リボン)・カーディガンの4つもあるため、気分や季節によってさまざまなコーディネートが可能!

ゆうみさん総評

バランスが非常にいい作品だと思いました! 細やかなところまで丁寧にデザイン、縫製されており、とてもクオリティの高い作品です。シャツなどはサイズもしっかり子どもサイズに落とし込まれており、子どももとても着やすいアイテムになっていると思います。



作品テーマ 日差しのある夏のキャンプ場で120cmの女の子が着ている服



チーム名 Tik Tok
部門:グループ品質保証部

Point

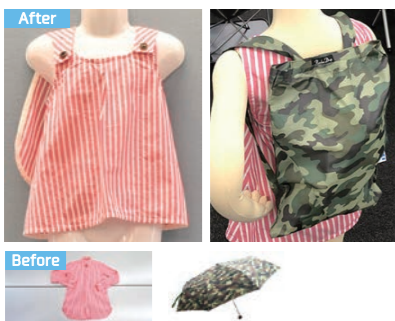
①一般的なジーンズ1本を生産するのに、最大で10,850ℓもの水を使用するため、環境面を考慮して、ジーンズ生地をリサイクルする ②さらにキャンプなどのシーンにも似合うよう、カジュアルで楽しくなるような服装のデザインに ③薄暗くなったキャンプ場で迷子にならないよう反射テープをつけた。

ゆうみさん総評

裾のフレアデザインが、子どもが元気に走っている姿を感じられるくらい爽快感があり、大変良いです! 移動ポケットも良く作られており、ティッシュがすぐに取りやすいように工夫されているところも◎

作品テーマ 夏休み キャンプスタイル

総合第3位



チーム名 いのべる
部門:イノベーション
技術開発部

Point

①アップサイクルイベント終了後「小中学校の教材として使う」ことを前提に、1枚のシャツから「可愛く簡単に作れる」をコンセプトにチュニックを制作 ②小物は古い傘を活用し、「一工夫あるアイデア+できるだけ簡単に作れるもの」から2WAYのエコリユークを制作。

ゆうみさん総評

ノーズリブチュニックを拝見したとき、これはおもしろい!と思いました。デザイン性に富んでいて、かつ大人服を子ども服に落とし込み、素晴らしいデザインだなと思いました。バッグもそうですが、商品化ができるアイテムが2つもあったことに本当に感動しました。シャツの始末がバイビングなのも◎

作品テーマ いとをかし
～ひぐらしでPATCH des GARÇONS～



チーム名 つれづれなるままに
部門:イノベーション・技術開発部
+IoTネットワーク開発部

Point

①この服と小物に不要なもの(すなわち構成)は削除して、必要なものを追加した ②洗濯と着用によるほつれや汚れ等の経年劣化を劣化と感せず、美観として捉えられるようなデザインに ③さらなるリメイクを楽しめるような想像力をかきたてる拡張性を持ったデザインにした。

ゆうみさん総評

ステッチの使い方が素晴らしい、最初からこのようなシャツのデザインが売られているかのように素敵です。スカーフ型のオーナメントもつけたり外したりができるので、とても良いと思いました。インナーも袖を切り替えているのが◎

作品テーマ 夏休み満喫! 海後は花火へGO!!
～夏の一日コーデ～

役員特別賞



Shakitt
チーム名 (シェーキット)
部門:縫製機器&システムユニット1

Point

2Way浴衣で、1着でいろんな場面を楽しめる。
①サイズアウトしてもスナップボタンをつけ替えることで、上衣は丈を長く伸ばすことで長く着られる ②夏の海辺の装いで、夜には浴衣をイメージしたコーデに変化する ③浴衣の帯にJUKIロゴ生地を大胆に使用した。

ゆうみさん総評

さまざまな着こなしができるのが素晴らしいです!!袖口にフリルがついているのがオリジナリティがあって◎ トップスがとても考えられて作られていて楽しく着こなしができるなと思いました。

作品テーマ Xin chaoあおざい

総合第3位



チーム名 カラー
部門:縫製機器&
システムユニット2

Point

①グローバル企業として「日本xベトナム」の多様性を表現 ②公園へのお出かけと七五三などのセレモニーでも使える2つのおでかけ着に変化できる ③ミシン初心者のメンバーがオペレーターに挑戦!

ゆうみさん総評

サンプルを作られて、本格的な作品を仕上げてくださり感謝無量です。トータルバランスとして少しボトムに重さが出てしまっているのですが、日常から飛び出した作品を着るのはとても喜びを感じています。